

令和4年7月6日（水）博物館地域説明会（上井出出張所）

<質疑応答>

・質問者①

質問：（一部省略）全13回の総括を一度市役所の7階で、市民の声はどんなことがあったのか公表してもらいたいと思います。

回答：総括での皆様へのお披露目の仕方は、我々で色々検討させてください。HPにも掲載したり等、それ以外の方にもどのように伝えていったら良いかを検討させていただきます。

・質問者②

質問：博物館自体は文化的にとっても良い事だと思います。博物館を造ることそのものに反対する人はいないと思います。ただ20億前後かかるということですよね、博物館を造るのにこれくらいの機能が必要だということは分かります。

ただ富士宮市民の一人として、例えば美術館やギャラリー等、文化会館の機能の劣化を改善する等（があり）、富士宮市がやる事業として博物館は重要だと思いますが、優先順位が違うのではないかと思います。

どれが一番とか二番とかいう気はないのですが、博物館ができればみんな喜ぶと思うんですが、美術館でもギャラリーでもみんなそうなんですが、一番重要なのはやっぱりインフラではなくその中の人間の活動なんですよ。その辺にエネルギーをどのくらい使われるのでしょうか。

一番有名なスミソニアン博物館や、東京の科学博物館など、生きた博物館は沢山ありますが、自治体の博物館で人が入っている例は殆ど無いんですよ。これを活性化して皆さんが良い博物館だと言ってくれるようにするまでは相当なエネルギーと費用がかかると思います。この場でほかの施設の事をしゃべるのはおかしいかもしれませんが、富士宮全体の予算で何かを作りたいと思った時の順番、これは博物館には反対しませんが、優先順位は間違っているのではないかと思います。

回答：私どもとしましては、文化財（を保管している埋蔵文化財センター）は浸水区域にあるというのもありますし、直近の課題だと思っています。

その中で財政部門と企画部門との調整の中でこういった順番で進めていくか、どのくらいの費用なら何とかなるのか、そういった議論を重ねた上で今回進めておりますので、その点をご理解頂きたいです。

質問：もちろん、この構想を丁寧に説明していただいているのには全く反対しません。そうではなく、いま市民が実際必要としている現状を同時に考えてやって頂きたいというところです。

・質問者③

質問：資料館の建設には断じて反対です。素人の言葉になってしまいますが、理由としては税金の無駄遣いだと思います。

資料館を作るならば既存のものを使うべきですし、先ほど何度も郷土愛というワードが出ていますが、その割にはユニバーサルなんちゃらとか現代的なものへの憧れが見え見えです。

郷土愛を培っていききたいならやはり廃校になった粟倉分校を再利用する等が案にあると思います。既存のものという意見に対してああ言えばこう言う状態で、何が何でも市や市長のために新築で何かでっかいものを造る、ってやりたいのが見え見えです。

回答：一つご理解頂きたいのは、粟倉分校はまだ廃校になる訳ではありません。こちらをどうするのかはこれからの議論になります。廃校になるとは言えません。

そういった状況ですので、今現在、改装に使える建物を色々検討しましたが、その中には耐えられる物はなかった、という状況で新しい建物を建てざるを得ないということ考えております。

質問：(質問者③とは別の方)：じゃあ廃校にならないね？

回答：(一部省略) ここで別の内容ですので廃校か休校かの話題は下げさせてください。

質問：候補地として(粟倉分校)は？

回答：候補地としては、土砂災害警戒区域にも入っています。今ある所の埋蔵文化財が5～10mの浸水区域にあり、文化財保護に適さないよという時に、土砂災害の警戒区域にわざわざ持って行って保存するというのもそぐわないかなと思います。

(一部省略)

・質問者④

質問：この中で候補地が1番から4番ありますが、優先順位としては1番の候補地ですか？

回答：少し説明が不十分だった点もありますが、まだ検討ということで、6000㎡という必要面積を想定していますので、それを満たす市の土地が三か所あり、安全や自然環境等を見て、使える土地が三か所あるという話になります。

説明の中にもありましたが、利便性や勉強に適した環境である等条件をもう一度検討し他に使える場所があれば次の基本計画の中で検討していきたいと思っています。

質問：この中で整備する場所の造成が必要、2には駐車場等が必要と書いてありますが、体育館などもあります、子供や親御さんが結構利用されている所がありますが、そこを潰してやるんですか？ もし仮になったとしたら……？

回答：仮になったとした場合、そういったものはぜひ活用していきます。本当に例えばの話

になりますが、体育館は空いている時には講堂として使わせて頂くとか、そういうことも考えられます。

質問：芝生のエリアの事です。

回答：今ある施設については潰すということは考えておりません。空いている所に造りますので、例えば駐車場になっている所や、建物が建っていない所でやっていけたらと思っています。まだ場所として決まっていけないものですからそこまで検討はしておりません。

質問：非営利事業ということですが、ショップやミュージアムが必要なのかなと思います。

利用者サービス、利用しなくてもいいのではないかなというのが個人的な意見ですが、文化財が保護されれば十分じゃないかというのが自分の意見ですが、ここまで敷地を拡げてまでやるものでも無いというのが個人的な感想です。

学芸員の方々が仕事出来るような環境であれば、もう少し縮小してコストも下げられるのではないかと考えています。

回答：そこについては検討委員会でも両論分かれていまして、8ページに記載させて頂いていますが、検討の中でミュージアムショップを充実させるということは、イコール展示の充実にも繋がると考える委員さんもいらっしゃいました。

私どもとしてはできるかぎり安上がりにしたいという面もございます。

これから検討しなきゃいけない課題として、最後のページに検討委員会に挙げられた課題として記述をしております。

#### ・質問者⑤

質問：私は劇団をやっています。こういう大がかりな建物が出来るときに富士宮市の文化会館ができる時のことを思い出して、空回りしている部分がある気がします。

私がどういう経験をしたかということ、若いころ一生懸命（劇団として）活動してやっていた時期なのですが、富士宮市に文化会館ができるという話になったときに、何回も何回も話し合いをし、徐々に構想がまとまり会館がオープンしたのですが、実際文化会館がオープンして入ったら私らの希望が一切入っていなかったんです。何のために私らが一生懸命説明会や話し合いをしたんだろうと思いました。

文化会館ができたときに真っ先に、私らがこけら落としで呼ばれるかと思ったら、やっぱり演歌歌手とかそういう人たちの催し物が優先され、文化会館ができて私らが初めて文化会館の舞台を踏んだのが7年目くらいでしたかね。

当時富士宮市の中央公民館があったから私達はそこで、活動してましたので、文化会館なんかできてもしようがないよな、俺たちあそこ借りないって、それは施設の在りようもそうですし、使用料等色々な規則があって、この規則では俺達は入る場所がない、というような状況だったんですね。

こういう話を聞くとその時のことを思い出し、本当に市民を大事に思って、喜んで

らうための施設になるかどうか、私はすごく疑問を持っています。賛成や反対ではないのですが、本当にこういう物が大事だと、こういう説明をわくわく聞いているような人たちが、オープンした時にそのわくわく感をうまく乗せられる施設になるかどうか、というのは特に、今日の説明を聞いているとますますそういう気持ちになりました。

回答：昔の話ですのでその時の経緯は私もわかりません。ただ、これからの施設につきまして、私どもの今考えている博物館が同じ轍を踏まないように、頑張っていきます。(一部省略)

整備が進む段階になりましたら先ほどのご意見を参考にさせて頂きながらやらせて頂きたいと思います。

#### ・質問者⑥

質問：今回 13 回の説明会を終えられて、この後は市民への周知ということがメインだと思うんですけど、その後の周知を図る術はお考えでしょうか、何かあったら教えてください。

回答：今いくつか考えておりますが、とりあえずこの 13 回のまとめをしまして、もう一度どういった方法がとれるか検討していきたいと思っています、いくつか候補はあるのですが、まだ決定はしていない状況です。

質問：市民集会だろうな、市民全員に行き渡るように。市民集会を要望します。

回答：またどのようにやるかを検討します。先ほどの文化課長からの説明を補足しますと、例えば子供たちに体験教室や、勾玉作りや土器の型取り等を行い、その際に保護者の方には博物館の説明をしたり等、あとは博物館に行きなれていないご家族がいらっしゃる場合は子供たちに向けて、博物館に行って親子でこんな会話をしたら楽しく見れるんじゃないかなと、学芸員がこんな会話をして、こんな楽しみ方があるよという提案を、夏休み前に学校を通じて保護者の皆さんに配れたらいいなと、博物館について皆さんに知っていただくという基本のところからしていきたいなと思っています。

#### ・質問者⑦

質問：建設にかかる費用が 20 億ぐらいということは分かりましたが、維持費はだいたいいくらくらいかかることを想定していますか。

回答：維持費についてはこれからどういう活動をするのか、どういった建物になるのかが細かく決まっていないので算出はしていません。ただ、全国的な平均を見ますと 1 億くらい、それくらいはいかないかな、とは考えてはいますが、今のところまだ根拠はありません。

質問：大きく見積もって一億かかった場合に、税収で賄うことができるんですか。

回答：税収の中で賄うことができるような計画を立てていきたいと思っています。

質問：分かりました。

あと、環境交流プラザで美術品の展示を見に行ったのですが、ああいう環境だと十分こういう資料館的なものを収蔵できる場所になるんじゃないかなと思いますが、いかがでしょうか。

回答：まず一つは我々が持っている物（文化財）の中で（保存の）環境が特殊なものが古文書、日光が当たるとまずい、紫外線がまずい、湿度温度の調整がちゃんと出来ていないとまずい等、どんどん傷んでしまう、というような状況がございます。

残念ながら交流プラザはそういった施設にはなっていないので、ちょっと難しいというところでは。

面積的にも足りないところはございますので、そのまま使うのは考えにくいと思っています。

質問：私は歴史が好きなので、先ほど学芸員さんがお話しているのがすごく嬉しかったのですが、例えば昔ここで合戦がありましたとか、子供たちが知って何を学ぶのでしょうか。そこが一番重要だと思います。

回答：教科書の勉強というのはあくまで全国的に流れがあって、例えば戦国時代だと織田信長が統一しようとするけれど最終的には徳川家康が幕府を作ったという、ストーリーは皆さんご存じだと思うんですが、では自分達の地域はどうだろうと考えたときに、富士宮ってあんまり教科書に出てこないと思うんですね。こういった博物館でそういった展示をすると、教科書を読んでいる時に、ああこういった歴史が自分たちのところではあったんだと勉強できて、歴史が身近な物になってくると思います。例えば自分の知っている地域がその資料等に出てきたら、あそこでこんな人が居たんだとか、織田信長がうちの近くに寄ったんだとか、そういったことがあると歴史が身近なものになってくると思います。

質問：それだと多分、子供たちの生き方やそういった教育にはならないと思うんですよ。ただ暗記して、富士宮でこういうことがあったんだね、で終わってしまうような気がするんですよ。（一部省略）今回の二十何億かけて建設、維持費が一億かかると。本当に富士宮市の子供たちのためになるかってことですよ。

これから生まれてくる子供たちとかってこのお金を負担していく訳じゃないですか。

回答：まず、本当に子供たちのためになるかというのは、先ほど申し上げました通り郷土を知ってもらって、郷土を愛してもらい、好きになってもらい、郷土を誇りに思ってもらいというのが大切だと思っています。そこで何がつながっていくのかというと、郷土を愛していたら、例えば都会で働いていても、他の仲間から今度富士山の方に行くよという時に富士宮のここに行くとかこういう歴史もあって、こういう所もあるから行ってごらんとか、ふるさと納税しようとか、富士宮を常に忘れないで生活してもら

います。富士宮に本当は戻ってきて、富士宮で生活して一人でも人口が増えているような状態を作ることに対しての投資だと思っています。

また、先ほど一億円が独り歩きしちゃうって話ですけど、議会でも答弁しましたが、富士山かぐや姫ミュージアム、ここは広大な面積がありますが、旧家の建物も全部管理していて、それで一億超えている状況でかなり人件費もかかっています。建物の維持よりも人件費の方が大切なのだろうなと思っています。人件費は学芸員であり、それを管理する職員がいます。学芸員は何をするかという、頭にある色々な知識を子供たちに伝えていくことです。このままだと伝える場がないんですね、博物館があればそういったことを伝える場になる。学芸員が活躍できる場所を作っていけば、それが富士宮市にとってプラスになると信じて説明させていただきます。

・質問者⑧

質問：私は政治的なことは分かりませんが、皆さんが担当者としてこういったことを命をかけて考えて、一生懸命になられているのはすごく分かるのですが、相当活性化しなきゃなりませんね、明治村だとかみんなに喜ばれるような環境っていっぱいあるのですが、富士宮という主題で本当に皆に愛される活性化した博物館ができるって思ってますか？ 私はちょっと厳しいと思います。

回答：少なくとも文化課の職員はそのように思っています。

質問：一つ言わせてください。真っ黒に塗られた情報公開された物です。これから絶対こういうことがないように、全部に公にわかるように出してください。

回答：はい、今手続き進めておりますので、しばらくお待ちください。